

Mini Test 01 (線形代数学 II)

実施日 2024.11.07

問 1. 行列 $A = \begin{pmatrix} 6 & -3 & 27 \\ -3 & 2 & -12 \\ 27 & -12 & 126 \end{pmatrix}$, ベクトル $\mathbf{b} = \begin{pmatrix} 9 \\ -9 \\ 27 \end{pmatrix}$ に対し、連立一次方程式 $A\mathbf{x} = \mathbf{b}$ の解 \mathbf{x} を求めよ.

ただし、解が存在しない場合は最小自乗解を求めよ。また、解に任意パラメータ (複数もあり) が含まれる場合はそれらについてもきちんと記述せよ。

問 2. 変数 x の 3 次以下多項式の集合 $\mathbf{R}[x]_3$ に対し、集合 $W = \{f(x) \in \mathbf{R}[x]_3 \mid f'(5) = 0, f(3) = 0\}$ が $\mathbf{R}[x]_3$ の部分空間か否かを理由付きで答えよ。
また、もしも部分空間であるならばその基底を示せ。

問 3. 一次独立なベクトルの組 $(\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2, \mathbf{u}_3)$ に対し、

$$\begin{cases} \mathbf{v}_1 = 2\mathbf{u}_1 + \mathbf{u}_2 - 3\mathbf{u}_3, \\ \mathbf{v}_2 = \mathbf{u}_1 - \mathbf{u}_2, \\ \mathbf{v}_3 = \mathbf{u}_1 + 2\mathbf{u}_2 + 3\mathbf{u}_3 \end{cases}$$

という関係にあるベクトルの組 $(\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2, \mathbf{v}_3)$ が一次独立かどうか理由付きで答えよ。

また、もしも一次従属であるならば、 $0 = C_1\mathbf{v}_1 + C_2\mathbf{v}_2 + C_3\mathbf{v}_3$ を満たす $\{C_1, C_2, C_3\}$ を示せ (ただし、 C_1, C_2, C_3 のうち 2 つ以上は非ゼロとする)。

問 4. x の二次以下の多項式の集合 $\mathbf{R}[x]_2$ 中の多項式

$$\begin{cases} f_1 = -1 + 4x + 6x^2, \\ f_2 = -2 + 3x + 7x^2, \\ f_3 = 1 + 2x + x^2, \\ f_4 = 1 + 2x, \\ f_5 = 1 + x + 2x^2 \end{cases}$$

の一次関係を調べよ。具体的には以下のように答えれば良い。

- この中で一次独立なベクトルの最大個数 r を求めてこれを解答し、
- 前の方から、 r 個の一次独立なベクトルを挙げ、
- 残りのベクトルを、上で求めた r 個の一次独立なベクトルの一次結合で表わす。

問 5. 行列 $A = \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 & -1 & -2 \\ 2 & 2 & 1 & 4 & 3 \\ 0 & 1 & 2 & 6 & 7 \end{pmatrix}$ に対し、 $\ker(A) = \{\mathbf{x} \in \mathbf{R}^5 \mid A\mathbf{x} = \mathbf{0}\}$ を求めよ。
また、 $\ker(A)$ の次元 $\dim(\ker(A))$ を答えよ。

以上.

Mini Test 01 (線形代数学 II)

実施日 2024.11.07

問 1. 行列 $A = \begin{pmatrix} 6 & -3 & 27 \\ -3 & 2 & -12 \\ 27 & -12 & 126 \end{pmatrix}$, ベクトル $\mathbf{b} = \begin{pmatrix} 9 \\ -9 \\ 27 \end{pmatrix}$ に対し、連立一次方程式 $A\mathbf{x} = \mathbf{b}$ の解 \mathbf{x} を求めよ.

ただし、解が存在しない場合は最小自乗解を求めよ。また、解に任意パラメータ (複数もあり) が含まれる場合はそれらについてもきちんと記述せよ。

問 2. 変数 x の 3 次以下多項式の集合 $\mathbf{R}[x]_3$ に対し、集合 $W = \{f(x) \in \mathbf{R}[x]_3 \mid f'(5) = 0, f(3) = 0\}$ が $\mathbf{R}[x]_3$ の部分空間か否かを理由付きで答えよ。
また、もしも部分空間であるならばその基底を示せ。

問 3. 一次独立なベクトルの組 $(\mathbf{u}_1, \mathbf{u}_2, \mathbf{u}_3)$ に対し、

$$\begin{cases} \mathbf{v}_1 &= 2\mathbf{u}_1 + \mathbf{u}_2 - 3\mathbf{u}_3, \\ \mathbf{v}_2 &= \mathbf{u}_1 - \mathbf{u}_2, \\ \mathbf{v}_3 &= \mathbf{u}_1 + 2\mathbf{u}_2 + 3\mathbf{u}_3 \end{cases}$$

という関係にあるベクトルの組 $(\mathbf{v}_1, \mathbf{v}_2, \mathbf{v}_3)$ が一次独立かどうか理由付きで答えよ。

また、もしも一次従属であるならば、 $0 = C_1\mathbf{v}_1 + C_2\mathbf{v}_2 + C_3\mathbf{v}_3$ を満たす $\{C_1, C_2, C_3\}$ を示せ (ただし、 C_1, C_2, C_3 のうち 2 つ以上は非ゼロとする)。

問 4. x の二次以下の多項式の集合 $\mathbf{R}[x]_2$ 中の多項式

$$\begin{cases} f_1 &= -1 + 4x + 6x^2, \\ f_2 &= -2 + 3x + 7x^2, \\ f_3 &= 1 + 2x + x^2, \\ f_4 &= 1 + 2x, \\ f_5 &= 1 + x + 2x^2 \end{cases}$$

の一次関係を調べよ。具体的には以下のように答えれば良い。

- この中で一次独立なベクトルの最大個数 r を求めてこれを解答し、
- 前の方から、 r 個の一次独立なベクトルを挙げ、
- 残りのベクトルを、上で求めた r 個の一次独立なベクトルの一次結合で表わす。

問 5. 行列 $A = \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 & -1 & -2 \\ 2 & 2 & 1 & 4 & 3 \\ 0 & 1 & 2 & 6 & 7 \end{pmatrix}$ に対し、 $\ker(A) = \{\mathbf{x} \in \mathbf{R}^5 \mid A\mathbf{x} = \mathbf{0}\}$ を求めよ。
また、 $\ker(A)$ の次元 $\dim(\ker(A))$ を答えよ。

以上.